

## 地方移住にかかるお金のことや移住で成功するポイントがわかる 『FPが教える！「地方移住」で気になるお金の話』11月1日刊行

日本FP協会(所在地 東京都港区、理事長 白根壽晴)は、地方移住に関心を持つ生活者を対象に、地方移住にかかるお金のことや移住で成功するためのアドバイスをまとめた『FPが教える！「地方移住」で気になるお金の話 (B5判・8ページ)』を制作しました。

近年、ゆとりある生活を求めて地方移住をする人が増えてきています。内閣府「東京在住者の今後の移住に関する意識調査」(2014年8月、インターネット調査)によると、東京在住者の4割(うち関東圏以外の出身者は5割)が地方への移住を検討しているまたは移住したいと考えており、地方移住への関心が高いことが伺えます。

国や地方の行政機関においても人口減少に歯止めをかけようと、移住を推進するための様々な支援制度や相談窓口を設置しています。一方で、移住を検討する生活者は地方での生活における収入や生活費など資金面に不安を感じているというデータもあります。

そこで、本冊子では、地方と都会でかかるお金(物価や家賃など)にどのような違いがあるのか、実際の移住に際してどのくらいの費用がかかるのかについて、公的機関のデータや事例を基に移住にかかるお金の概要を説明しています。また、子育て世帯・セミリタイア世帯の2つの事例を取り上げ、家族のライフプランとお金の両面から、どのように移住後の生活の見通しを立てるのかについても貯蓄残高のシミュレーションと共に紹介しています(詳細は次頁をご確認ください)。



本冊子は、弊会の取り組みのひとつであるパーソナルファイナンス教育(金融経済教育)普及活動の一環として、生活者の方に向けて制作しています。なお、本冊子のご購入を希望の場合は50部1,080円(税込)で販売いたします。

内容は以下の弊会ホームページにてご覧ください。

[https://www.jafp.or.jp/personal\\_finance/fresh/chihou\\_jju/](https://www.jafp.or.jp/personal_finance/fresh/chihou_jju/)

※パーソナルファイナンス教育とは、人生の夢の実現をお金の面から考えていけるよう、一人ひとりの生き方にあったお金の知識や活用方法を身に付けるための教育のことです。

日本FP協会は、社会教育活動としてファイナンシャル・プランニングの普及とパーソナルファイナンス教育を推進し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としたNPO法人です。また、パーソナルファイナンス教育の担い手となる高い能力と高い倫理観をもったファイナンシャル・プランナー(CFP®・AFP認定者)を養成しています。

### ◆本件に関するお問合せ先

担当	日本FP協会 広報部広報課 金田・鈴木	TEL	03-5403-9742	FAX	03-5403-9795	E-mail	info@jafp.or.jp
----	------------------------	-----	--------------	-----	--------------	--------	-----------------

※ CFP®、AFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

※家計のホームドクター®はNPO法人日本FP協会の登録商標です。

### 特定非営利活動法人(NPO法人) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 マニユライフプレイス堂島5F TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065

<冊子の概要>

名称：『FPが教える！「地方移住」で気になるお金の話』  
 編集・発行：特定非営利活動法人(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会  
 販売価格：50部1,080円(税込)  
 サイズ：B5判  
 頁数：8ページ  
 発行：2018年11月1日

<構成>

1. 知っておきたい！ 地方移住にかかるお金
  - 地方暮らしの魅力、地方暮らしにかかるお金、移住にかかるお金の例 等
2. FPがアドバイス 移住後の「お金とライフプラン」ファミリー編
  - 移住先での教育費や老後のお金は大丈夫？
3. FPがアドバイス 移住後の「お金とライフプラン」セミリタイア編
  - 都内に自宅を残したまま、移住できますか？

### 1. 地方暮らしの魅力とは

地方暮らしの良さは、自然豊かな環境の中でゆったりと暮らせることにあります。清々爽やかに暮らすことなく通勤し、朝晩はゆっくりと家族で食事を囲んだり、物産や住費が安そうなイメージを持つ人も多く見られます。心にゆとりを持って暮らしを実現できることが、大きな魅力です。

図1 通勤・通学にかかる時間(分)

地域	通勤	通学
東京都	45	30
千葉県	35	25
埼玉県	30	20
茨城県	25	15
栃木県	20	10
群馬県	15	5
山梨県	10	0
長野県	5	0
静岡県	5	0
愛知県	5	0
岐阜県	5	0
富山県	5	0
石川県	5	0
福井県	5	0
山梨県	5	0
長野県	5	0
静岡県	5	0
愛知県	5	0
岐阜県	5	0
富山県	5	0
石川県	5	0
福井県	5	0

### 2. 地方暮らしにかかるお金

食費などは安い、生活費は大きく変わらない。収入と支出および支出の内訳を比較したものです。地方は食費などが安いものの、概ね前年より負担は減りませんが、収入も下がりますので、地方に住めば大幅に家計が改善すると思えるのは早計です。慣れた地方暮らしを実現するためにも、しっかりとお金の計画を立てていきましょう。

図5 1世帯あたり1か月の収入と支出

---

### 2-1 FPがアドバイス 移住後の「お金とライフプラン」ファミリー編

「子どもをのびのびと育てたいので、すぐにも地方に移住したい。教育費や老後のお金は大丈夫？」

「地方ならではの子育てしやすい環境で、夫婦2人で頑張れば、希望の生活を叶えることができます」

●Aさん一家の移住後の貯蓄高の推移

収入(緑色ライン) 支出(赤色ライン) 貯蓄高(青色ライン) 見直し後の貯蓄高(黄色ライン)

2台目の自動車購入(費用60万円) (見直し前) 妻パート開始(年収10万円) 36歳でマイナスに転落

子ども幼稚園入学 子ども小学校入学 子ども中学校入学 子ども高校入学 見直し後 夫60歳で退職(夫の退職金600万円) 妻60歳で退職(妻の退職金400万円) 年金受給開始

見直し前70歳時の貯蓄高1,204万円 見直し後70歳時の貯蓄高1,204万円

見直し前70歳時の貯蓄高△337万円

子どもをのびのびと育てるために、移住先での生活費を把握する必要があります。

移住先での生活費を把握するには、移住先での生活費を把握する必要があります。

移住先での生活費を把握するには、移住先での生活費を把握する必要があります。

項目	移住前/月	移住後/月
収入(前年)	300,000	225,000
生活費等	90,000	45,000
生活費合計	142,000	125,000
支出		
食費	67,000	40,000
日用品	7,000	7,000
交通・通信費	17,000	27,000
水道光熱費	15,000	20,000
その他	36,000	31,000
税・社会保険料	63,000	41,000
支出合計	295,000	211,000
収支(収入-支出)	25,000	14,000

●現在の貯蓄残高 - 291万円

●移住後の定年退職金(見直し) - 600万円

●見直し後の生活費(見直し) - 45万円

●見直し後の収入(見直し) - 225万円

●見直し後の支出(見直し) - 125万円

●見直し後の貯蓄高(見直し) - 1,204万円

●見直し後の収入(見直し) - 225万円

●見直し後の支出(見直し) - 125万円

●見直し後の貯蓄高(見直し) - 1,204万円

弊会では、本冊子以外にも各ライフステージに合わせた金融経済教育用小冊子の制作を行っています。

- ・『若手社会人のマネー&ライフプラン お役立ちハンドブック!』(若手社会人向け)
- ・『くらしとお金のワークブック』(20代~40代向け)
- ・『今からはじめるリタイアメントプランニング』『60代からはじめる マネー&ライフプラン』(リタイア世代向け) 等

各冊子の詳細は、日本FP協会ホームページをご参照ください。→ <https://www.jafp.or.jp/book/app/finance/>